

資料 1

平成25年度千葉県公立高等学校入学者選抜方法等改善協議会（第1回）概要

日時：平成25年5月20日（月） 午前10時から正午まで

場所：千葉県教育会館 608号室（6階）

[委員等]

宮内好雄委員長，石井信代副委員長，鈴木宏子委員，尾崎由紀子委員，高岡正幸委員
森谷英一委員，小西則子委員，石川善昭委員，大木茂委員，関紀子委員，岡根茂委員
佐久間勝彦委員，田鎖美穂委員，齋藤一浩委員，川崎宏薫委員，中村美彦委員

教育次長，指導課長，教育政策課長，教職員課長，教育振興部副参事兼指導課学力向上室長

- 1 開会のことば
- 2 県教育委員会あいさつ
- 3 委員の紹介
- 4 設置要綱の一部改正について
- 5 委員長，副委員長の選出
- 6 報告
 - (1) 平成25年度公立高等学校入学者選抜の結果について
 - (2) 平成25年度入学者選抜における中学校及び高等学校からの意見について
 - (3) 千葉県公立高等学校入学者選抜制度のアンケート結果について
 - (4) その他
- 7 協議
 - (1) 平成26年度以降の千葉県公立高等学校入学者選抜方法等の在り方について
 - (2) その他
- 8 閉会のことば

【質疑・協議結果】

平成26年度以降の千葉県公立高等学校入学者選抜方法等の在り方について，協議を行った。
主な意見等は次のとおりである。

- ・私立高校の受検を含めれば，公立高校の受検とあわせて複数回の選抜機会を保証していることになるので，1回の選抜で募集定員の全てについて入学許可候補者を決定する方がよい。
- ・後期選抜は1日で実施しているため，第2次募集のように受け取られているので，2日間で実施すること等を意識し検討してほしい。
- ・選抜制度を変更するのであれば，十分な周知期間を取った方がよい。最低でも2年半は必要である。
- ・仮に選抜制度に変更がある場合に，その周知期間を更に2年半取るのは改革が遅いと考える。
- ・定時制の課程の願書等の受付時間は，社会人の方の出願や職員の勤務時間を考慮し，午後からにしてほしい。
- ・アンケートは，中学3年生徒・保護者，高校1年保護者に対しては悉皆調査ではないので，その意見については慎重に検討するべきである。
- ・丁寧に試験を行うには，2回実施がいいと考える。
- ・郡部では，一本化がよいという意見が多い。千葉県内でも地域差があるのではないか。
- ・アンケート調査は，毎年継続して実施するべきではないか。
- ・2回の選抜制度を継続する上で，アンケート等の意見をきちんと分析して進めてほしい。
- ・無理やり制度を変えるのはおかしい。問題がなければ変える必要はない。
- ・選抜制度について，埼玉県・茨城県等一本化している他県の状況を参考としながら慎重に検証をしてほしい。

平成26年度以降の入学者選抜の在り方については，次回以降の協議会でも継続して協議する。

なお，「7 協議」「(2) その他」において，専門部会の設置及び専門部会委員が決定された。